

チューリッヒ日本人学校

学校だより

2010年2月26日

2月号 NO8

JAPANISCHE SCHULE IN ZÜRICH

発行責任者 島田清人

ファスナハトとおひなさま

先日から路上に紙吹雪に使われた色とりどりの小片が張り付いていてファスナハトのパレードの跡がうかがわれます。今年のウスターのファスナハトは平日のため見られませんが、ある街を通りかかった時に偶然ファスナハトの行列に出会い、賑やかな楽しいカーニバルを見ることができました。春を祝い、悪霊を追い払うという祭りの中に日本のナマハゲに似た仮面と衣装を身に付けたチェケッタがいました。この時期 長い暗い厳しい冬から開放され、少しずつ気持ちが明るくなります。



春を迎え、今年も学校の廊下には7段15人飾りのひな人形が飾られています。健やかな成長を願うおひな様のルーツは、厄除けの形代（かたしろ）だったそうです。お祓いの儀式は古代から行われており、旧暦3月3日は大干潮で遠く引く潮に厄を持って行ってもらうように行われのが、『桃の節句』の始まりだと言われています。日本人の雅やかな伝統文化が今年も継承されています。



私の作文発表会 (2月12日)

私の作文発表会は、1年最後のまとめの時期に、今年度の行事や生活・学習を振り返り、自分の考えや思いを全体に堂々と伝えると共に、相手の考えや思いを受けとめ、共に学び合う場として、行われました。

1年生は、新記録まであと1秒だった最後までがんばったマラソン大会のこと、太鼓と歌と芝居とをみんなでがんばり、とても楽しい気持ちに



なった学習発表会のこと、ユッカ農場で摘んだイチゴがおいしかったことの発表でした。

2年生は、マラソン大会で練習を重ねて、当日とても緊張したが自己ベストを出せたことや、みんなが応援してくれたので一番でゴールすることが出来たこと、また好きな勉強でたくさん漢字を覚えて漢字検定9級合格を目標に頑張っていることを発表してくれました。



3年生では、友達のアドバイスでわり算が好きになり、教え合う楽しさを知ることができたこと、スイスの日本人学校で学校生活をはじめて、みんなと仲良くすることの大切さを学んだ1年だったこと、1年生で始めた一輪車が、3年生になっていろいろな技がきるようになってとてもうれしかったことが発表されました。

4年生は、一輪車の練習と清掃をがんばったことで、根気よくあきらめずに続けることと、気持ちを切り替えて区別することの大切さに気づいたという発表でした。

5年生は、外国の人に自分からやさしくしたり、自分の楽しい気持ちを体中で表したりすると、これらは相手に通じて、相手もそれに応えてくれるという体験を通して得たことを発表してくれました。

6年生は、学習発表会の努力が未来の扉のカギを開け、新しい自分の存在を学んだこと、また国の違いに関係なく、人の心は誰でも通じ合うことができることを学んだ交流学習のこと、自分の力だけでなくみんなの努力と協力でがんばったマラソン大会のこと、スイスはつまらないと考えていた自分が、楽しく学校生活を送れるようになりこのことで改めて友達の大切さを学んだという発表でした。

中学2年生。サマーキャンプを通して自分自身が変わったこと。自分の信念を持ち物事を考えたいことや相手を受容できるようになったこと。毎日見ている「鏡」を通して、本当の自分の存在に気づき、これからも自分探しをしていきたいこと。リーダーや委員長を決めるとき二つの気持ちが争う心の内を、そして、失敗をしても挑戦する気持ちを持ちたいこと。自分の性格を謙虚に見つめ、ものごとを肯定的にみる見方や自分を磨く努力の必要なことを発表してくれました。

中学3年生は、「ありがとう」という題で、困ったときや悩んでいたとき、先生方や仲間の支えや励ましがあったから今の自分があることに気づき、感謝の気持ちで一杯であるという発表でした。

作文発表会には二つのねらいがあります。一人ひとり、自分の考えや思いをしっかりと相手に伝える表現力ともう一つは発表を聞いて、相手の伝えたいことを感じとり、正しく理解することです。(途中、振り返りカードに記入しました。)
「感じる心」(情緒)は相手の立場に立てる豊かな心であるように思います。そのためにも、勉強はもちろん、



いろいろな体験・活動における人やものとのかかわりの中で、心を耕し根っこを広げ心を豊かにして、表現する力や感性を更に伸ばして行ってほしいと思いました。

新入生体験入学・JSマルクト

新入生体験入学に2名が参加してくれました。小学部1・2年生7名に迎えられ、まず2人は首に大きな歓迎のメダルを掛けてもらいました。「学校探検」では、校舎を回り1・2年生がひとつひとつの教室をていねいに説明しました。その後、お店屋さんごっこをしたり、休み時間には「ダルマさん転んだ」や「ジャンケン列車」をしたりして、みんなと一緒に仲良く遊びました。最後に、一人ひとりに感想を聞くと、とても楽しかったと元気よくうれしそうに語ってくれました。

1・2年生は、小さなお兄さん・お姉さんになって、いろいろと面倒を見てくれました。

「今までにしてもらったことを、今度はして返す」・・そんな先輩としての自覚や喜びを感じたようです。お別れの時は、窓から最後まで手を振っていたのが印象に残りました。



小学部1・2年生の生活科で「JSマルクト」(ウスターマルクトをモデルにしたお店体験)を計画し、先日上級生や保護者の方々をお迎えしました。児童は11月からこつこつ準備を重ね、当日は趣向を凝らしたお店をそれぞれオープンさせました。

お客様との話し方、お金の数え方、興味を持ってもらうための工夫等たくさんのお話を学んだ時間となりました。

< JSマルクト >



< 3月の行事 >

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	月	朝会、学校文集発行	16	火	修了式、離任式
2	火	安全点検	17	水	卒業証書授与式、職員会議
3	水	学級懇談会(～4日)	18	木	年度末・年度始休業(～4月8日)
5	金	全校集会(卒業生を送る会) 職員会 下校時刻3:50			

